学校番号	２０２

令和８年度　理科

教科	理科	科目	化学	単位数	２単位	年次	２年次
使用教科書	化学　（実教出版）						
副教材等	アクセスノート化学（実教出版）						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

化学の知識を身に付けながら、その知識が身の回りの自然事象等とどのように関連しているかということを理解してもらいます。そのために実験・観察や画像・映像・模型等を用いてそのイメージを持ちやすいように支援したいと考えています。

2　学習の到達目標

化学的な事物・現象に関わり、理科の見方・考え方を働かせ、見通しをもって観察、実験を行うことなどを通して、化学的な事物・現象を科学的に探究するために必要な資質・能力を獲得することをめざし、以下を目標とする。

・化学の知識や原理・法則を深く理解し、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する技能を身に付ける。
・化学的な事物・現象を仮説の設定、実験の計画、実験による検証、実験データの分析・解釈を伴って実験・観察が行えるようになり、自らの思考や判断を発表できる力を身に付ける。
・化学と日常生活や社会との関連について気づき、化学的な事物・現象について関心を持ちながら、より探究しようとする態度を身に付ける。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	化学的な事物・現象についての観察、実験などを行うことを通して、化学の基本的な概念や原理・法則を理解している。 科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する技能を身に付けている。	化学的な事物・現象を対象に、探究の過程を通して、情報の収集、仮説の設定、実験の計画、実験による検証、実験データの分析・解釈などの探究の方法を習得している。 報告書を作成したり、発表したりして、科学的に探究する力を身に付けている。	化学的な事物・現象に対して、主体的に関わり、それらに対する気付きから課題を設定し、探究・解決しようとしている。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
1学期	物質の変化と平衡	・化学反応と熱・光エネルギー ・電池と電気分解	a:電池と電気分解のしくみについて理解できる。 b:化学反応と電気エネルギーの関係について理解し、酸化還元反応と関連させて論理的に考えることができる。 c:化学反応とエネルギーの関係について関心を持ち、熱エネルギーと光エネルギーについて探究しようとする。	定期考査 確認テスト 実験レポート	定期考査 実験レポート 提出ノート	提出ノート 振り返りシート
2学期	物質の状態と平衡	・状態変化 ・固体の構造 ・気体の性質	a:物質の構造と沸点・融点の関係やボイル・シャルルの法則について、基本的概念や知識を身につけている。 b:結晶構造を理解し、モデルで表現することができる。気体の温度、体積、圧力の関係を論理的に考え、基本的な計算で導くことができる。 c:結晶の構造について興味をもち、意欲的に探究しようとする。気体の温度、体積、圧力の関係に関心をもち、探究しようとする。	定期考査 確認テスト 実験レポート	定期考査 実験レポート 提出ノート	提出ノート 振り返りシート
3学期	物質の状態と平衡	・溶液	a:溶解のしくみ、沸点上昇、蒸気圧降下、浸透圧などの溶液の性質、コロイド溶液について、基本的原理と知識を身につけている。 b:溶解度、沸点上昇、凝固点降下、浸透圧などについて理解し、それをもとにした計算をすることができる。 c:溶液の性質に関心を持ち、意欲的に探究しようとする。	定期考査 確認テスト 実験レポート	定期考査 実験レポート 提出ノート	提出ノート 振り返りシート

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度